

「ふくおかきっずアドベンチャーキャンプ」

- 開催日：令和3年10月9日（土）、10日（日）
- 開催場所：英彦山青年の家
- 参加者：16名（小学校3年生4名、4年生12名）
- 目標：福岡県内に住む小学校3・4年生の児童を対象に、各青少年教育施設での特色を生かした自然・生活体験と「鍛ほめ福岡メソッド」を位置づけたプログラムを経験させることを通して、自尊感情や向上心、困難に立ち向かう心等を伸ばし自律的に成長するための基礎を養う。

【1日目】火おこし体験と野外調理 ～英彦山ホットサンドを作ろう～

最初に「活動のゴール」を提示した上で、「今日の目標」を設定させ、具体的な達成目標を意識した活動となるようにしました。そして、挑戦意欲を引き出す工夫として、火をおこすためにファイヤースターターを使うことや、燃料に使ってよいのは、麻ひもと山で拾った材料のみという、やや困難な条件の提示を行いました。子どもたちは実際に取り組んでみると、火花は出るものの、なかなか麻ひもに火がつかなかったり、ついた火がすぐに消えてしまったりと、苦勞する様子がみられました。しかし、話し合ったり枝の置き方や空気の入れ方を工夫したりすることで、どの班も火を起すことに成功し、おいしいホットサンドが完成しました。



【2日目】英彦山トレッキング



英彦山トレッキングでは、挑戦意欲をさらに高められるように、実際のコースの写真を見せながら、英彦山で一番大きな建物の「奉幣殿」を目指すことを目標としました。山の中での危険箇所や、道の状態が変わるところなどを確認し、見通しをもって取り組むことができるようにしました。途中、体力的にきつくなる場面があり、弱音をはいてしまう子もいましたが、班の友達同士で「大丈夫?」「がんばれ!」「あともうちょっと!」など、温かい言葉や励ます言葉をかけあい、見事に全員がゴールすることができました。ゴールゲートをくぐった子どもたちの表情は、達成感で満ちあふれていました。

○全体を通して

今回のキャンプでは「鍛ほめ福岡メソッド」を位置づけたプログラム展開を行い、話し合ったり、役割分担をしたり、活動の中で見つけた仲間の頑張りを認め合う活動を通して「自尊感情・規範意識」「チャレンジ精神」の育成をねらいとしました。そして、ねらい達成のために、意図的な手立てを取りながらホットサンド作りを行い、その活動を生かして、英彦山トレッキングに挑むようにしました。どちらもやや困難な課題だったため、諦めそうになる子もいましたが、友達からの言葉がけや、頑張っている子の姿が励みとなり、頑張る気持ちが芽生えて最後は全員が課題を達成することができました。子どもたちが諦めずに頑張る姿や、仲間と協力する姿、成功した時の素敵な笑顔から、ねらいの達成を感じることができた2日間でした。